

## 10月は「骨髄バンク推進月間」「臓器移植普及推進月間」

《問合せ》健康増進課 ☎24-1127

骨髄バンクに  
登録しませんか

白血病や再生不良性貧血などの病気には、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が有効な治療法の一つです。この治療法には提供者(ドナー)が必要ですが、まだまだ不足しているため、移植を受けられない患者さんがいます。

日本では毎年新たに約1万人の方が、白血病などの血液疾患を発症しています。一人でも多くの患者さんを救うためには、一人でも多くのドナー登録が必要です。

患者さんに移植の機会が確保されるよう、骨髄バンクへの登録を検討してみませんか。

## ドナー登録できる方

- ▷骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- ▷年齢が18歳以上、54歳以下で健康な方

▷体重が男性45kg以上/女性40kg以上の方

※提供できる年齢は20歳以上、55歳以下です。

提供にあたっては家族の同意が必要です。

▷詳細は右記の二次元コードから市ホームページを確認してください。

骨髄等移植ドナー助成事業を  
開始します

(公財)日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業において、骨髄等を提供した方(ドナー)に対して助成金を交付します。

◆**対象** 骨髄等を提供した日および申請時において、本市に住所を有する方

◆**金額** 骨髄等の提供所要日数に2万円を乗じた額。ただし、1回の提供につき20万円を限度とする。

◆**申請期限** 骨髄等を提供した日から1年以内

詳細は市ホームページ

臓器移植のこと、  
考えてみませんか

臓器移植は病気や事故によって臓器が機能しなくなった方に、他の方の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療です。

「臓器を提供する」「移植を受ける」

私たちはいつ、どちらの立場になるかわかりません。一人一人が今、臓器提供について考え、家族と話し合い、自分の臓器提供に関する意思を表示しておくことが大切です。

## 意思表示の方法

方法は5つあります。いずれかの方法で書面による意思表示をしておきましょう。

①健康保険証の裏面への記入(記入は任意)

※裏面に臓器提供の意思表示欄が記載される取組みが進んでいますが、保険証の発行時期により、意思表示欄がない場合があります。

②運転免許証の裏面への記入(記入は任意)

③マイナンバーカードの表面への記入(記入は任意)

④意思表示カード

⑤インターネットの意思登録

## 意思の選択ができます

○「臓器を提供する」という意思だけではなく「臓器を提供しない」という意思も表示できるようになっており、どちらの意思も尊重されます。

○提供したくない臓器があれば、その意思を表示することもできます。

○記入した意思は家族へ伝え、家族署名欄がある場合は家族から署名をもらいましょう。

○意思はいつでも、何度でも変更できます。

## 全国瞬時警報システムの訓練放送を実施

日時 10月6日(水) 午前11時  
場所 豊岡市全域(全国一斉)

緊急時の正常動作を確認するため、各家庭等の戸別受信機と屋外拡声器から、最大音量で「こちらはJアラートのテストです」と一斉に放送されます。

《問合せ》防災課 ☎23-1111

※掲載している情報は編集時点(9月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

## 10月は食品ロス削減月間

## 「食品ロス」を減らしましょう

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことで、日本では年間600万トン以上発生しています。食品ロスの中には、手付かずの状態ですべて捨てられている食品もあり、この状況を多くの人を知ることが大切です。

この年間600万トン超の食品ロスのうち、約300万トンは家庭から発生しています。日本人1人あたりに換算すると年間約50kg、毎日お茶碗1杯分(約140g)の食べ物を捨てている計算になります。食品ロス削減のためには、家庭での取り組みが重要です。

食品ロスを減らすために  
家庭でできる3つのこと

新型コロナウイルスのため自宅で過ごす時間が増え、料理をする機会が増えたのではないのでしょうか。食品ロス対策を身近でできる方法をご紹介します。

## ■食材を買いすぎない

買い物に行く前に冷蔵庫の中をチェックし、計画的な買い物をしましょう。

## ■食材を使い切る

食材を上手に使って、食材を使い切る料理を心掛けましょう。

## ■食材を食べきる

残ってしまったら、冷凍保存や別の料理へ活用しましょう。

《問合せ》生活環境課 ☎21-9136

## ごみ減量にかかる補助制度

本市では、家庭から排出される生ごみを減量するため、電気式生ごみ処理機を使って自家処理をする方に対し、購入費の一部を補助しています。

## ◆対象者 次の全てに該当する方

- 市内に住所を有し、居住している
- 過去5年間にこの補助を受けていない(世帯単位)
- 購入後、継続して利用する

## ◆補助金額 購入価格の2分の1(上限3万円)

## ◆補助枠 残5台(1世帯1台限りで先着順)

## ◆申込方法 住所・氏名・電話番号を電話またはファクスで事前に連絡してください。

「木材はエコ素材」。聞いたことがある方もない方も、その理由をご存じでしょうか。例えば間伐材の利用。山林全体の4割を占める「人工林」は人によって作られた林で、整備しないと荒れていきます。間伐で樹木を適切に間引くことで残した木の生育を促し、豊かな水源を生み、草木が根を張ることで倒木・土砂崩れ防止に。つまり、間伐材を使うことは、健全な森林環境を整えることにつながります。また「カーボンニュートラル※」な特性から、木材は燃焼してもCO<sub>2</sub>を実質排出しない素材ということもエコな理由のひとつ。

さらに、国産の木材を使うのもエコです。遠い国から運んできた輸入木材は、輸送時にたくさんの化石燃料が使われます。日本は国土の67%が森林の世界第2位の森林大国なのに、実は年間に使用する木材の7割近くも輸入しているのです。「使わないなんてもったいない!」選べるならぜひ、地元の木材を。木材は建築材、割箸以外にも紙製品やお皿等にも活用されています。「間伐材マーク」がついた商品は、国内で採れた木材を使用して作られたものなので、このような認証製品を選ぶのも良いですね。本市も、地域の約8割が森林です。国・地域の木材を有効に使い、山や林業を守っていきましょう。

※植物や植物由来の燃料でCO<sub>2</sub>が発生しても、植物の成長過程で吸収したCO<sub>2</sub>が大気中に戻るといって考えれば、CO<sub>2</sub>排出量は実質ゼロになるというものです。



間伐材マーク

第10回  
木材利用から  
考えるエコ

地球温暖化を防止するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動をご紹介します。

《問合せ》生活環境課地球温暖化防止対策室  
☎21-9136

※掲載している情報は編集時点(9月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。